

	<p>2. イオンショッピングセンターについて</p> <p>① 地元商業者の出店を促進する方法とは、どのようなことを考えているか。</p> <p>② 太田では、地元商業者の出店は、結果的に無く、工業者が出資した飲食店などに限られたようだが、当市も同じようなことが予想されるので、地元商業者のための方策を別に考えるべきではないか。</p> <p>3. キャッセ羽生について</p> <p>① 収益力向上の具体策はあるか。子どもが行きたくなる施設にしないとダメではないか。</p> <p>4. ゴミ焼却炉の建設について</p> <p>① 単独にて、検討するとのことだが、加須市の焼却炉の広域利用について検討の余地は無いのか。</p>	
5番 小野幸夫議員	1. 河田市長の「所信と施策の基本的な考え方」に対する質問	市長
22番 岡戸 稔議員	<p>1. 市町村合併について 市長の構想としてはどのような規模で、どのようなスケジュールで考えられているか伺う。</p> <p>2. アパレル産業の活性化とクールビズについて 羽生の基幹産業であるアパレル産業とクールビズ奨励の中での考えについての提案</p>	市長
14番 落合信夫議員	<p>1. 市長の政治姿勢について</p> <p>① 市長としてのまちづくりのビジョンはどうか。</p> <p>② 自治基本条例（まちづくり条例）は検討中だが、早急に制定すべきと考えるが。</p> <p>③ 羽生市の魅力とは何か。</p> <p>④ 「市民参加」の形態は具体的にはどのようなか。審議会、協議会のあり方は。</p> <p>⑤ 国の地方切り捨てに対してどう対決して行くのか。</p> <p>⑥ 羽生市の財政危機の要因は何か。財政再建の展望はどうか。</p> <p>⑦ 地方自治の本旨は住民の福祉の増進をはかることにある。住民サービスの後退ではなく、税金の使い方を転換させるべきと考えるがどうか。 ※市長は公約で開発から市民生活にしていることに関連して</p> <p>⑧ 「イオン」の出店に対して市長は共存共栄と考えているが、どのように対策を講じるか。</p> <p>⑨ 議員の自宅を窓口化することは十分合意を得ることが必要と考えるが。</p> <p>⑩ 議員の削減や給料のカットなどは絶対に行うべきではないと考えるが。</p>	市長
13番 蜂須直巳議員	<p>1. 「しがらみ」のない市政運営を実現するとあるが、河田市長の云う「しがらみ」とはどのような状況を指しているのか。 文脈からは、(各種団体や業界の影響を受けない) 市政運営とも読み取れるが、基本的には市民参加、市民参画、市民協働は充分理解するが、市民の声も10人10色、千差万別で、結局の所、最大公約数的ものにならないか。又は声の大きい市民の意見に傾斜することにならないか。</p> <p>2. 安全で環境に優しい焼却炉の建設について 汚泥再生処理施設が完成し、羽生市に残された大型投資事業は焼却炉である事は判るが、必ずしも単独での建設にこだわる必要はないのでは。合併問題との絡みもあるが、広域処理を検討し、仮に現有炉が使用不能の状況の折は委託方式の処理も検討すべきである。むしろその方向で。</p> <p>3. イオンショッピングモールと中心市街地との共存について S. C内に地元業者の出店を標榜しているが、システム的にS. C内出店の基準はかなり敷居が高く、難しいとの見方が強いが、どのような対策を考えているのか。仮に市内業者の出店が不可能な場合の中心市街地活性化策はどうするのか。</p> <p>4. インター前開発や土地利用計画の見直し、民間開発手法の活用について インター前の開発が滞っている状況をどのように認識しているのか。地権者の全体合意が得られる見通しは。民間開発と云うが、今日の状況を招いた民間の介入をどのように捉えているのか。今日迄の経過を踏まえた場合、軽々な発言や行動には慎重さが必要と考えるが。</p>	市長